

拝啓。おとうさん、これから初めて会いに行きます。

# セントラル ステーション



'98年第48回ベルリン映画祭 金熊賞(グランプリ)

銀熊賞(主演女優賞) エクメニカル審査員特別賞受賞

## CENTRAL DO BRASIL

監督: ガブリエラ・サレス/プロデューサー: アルチュール・コーン、マルティス・ド・クレモント・ネール  
脚本: エリザベス・ミル、アリソン・トーナー、ランヴァード・ディモフィルムス、リオフィル、マクトロダクション共同製作  
撮影: パトリック・マッカガフ/脚本: ジャン・エマヌエル・カルボ/音楽: ルイス・ピント、ジヤック・モルランゴム  
撮影: ガブリエラ・サレス/撮影: イベペ・ラセウダ/音楽: フランシス・ピント、ジヤック・モルランゴム  
キャスト: フルエンダ・モチネグロ、リリア・ペーラ、ヴィニシウス・ア・オリヴェイラ  
制作支援: NHK/配給: 日本・ラ・ド・映画

1998年/ブジル映画/カラー/品/90分/PG-12

© VIDEOFILMES-MACT PRODUCTIONS-1998

ピクチャースタジオ

リオの中央駅で出会った  
代筆屋を営む女と、父を探す幼い“依頼人”。  
二人の心が触れあう感動のロード・ムービー。



# 第48回ベルリン映画祭グランプリ受賞！

世界中を驚きと感動の涙に包み込んだ話題作！

早くも99年 アカデミー賞外国語映画賞最有力の声！

## 「ニュー・シネマ・パラダイス」を凌ぐ傑作！

母親を失った9歳の少年と、  
母親に似つかわしくない老女との  
心暖まるロード・ムービーに  
心を動かされない人はいないだろう。  
この映画の最中、  
観客は皆、涙を流し、笑い、感動し、  
この素晴らしい愛の物語に拍手を贈る。

たった一通の手紙が、人生を変えてしまう。  
もしも手紙が届けられなかつたら…

ジャズズへ  
あんたは最低の夫よ  
手紙を書くのは息子のジョズエがせがむから  
アル中の父親でも  
ジョズエは会いたがっているのよ



出会いと別れ、人生の始まりと終わり——。  
ここは、さまざまな想いを抱えた人々が行き交う、  
リオのセントラル・ステーション。

この作品は、ブラジル映画としては史上初のベルリン映画祭グランプリを含む3部門受賞を始め、ロバート・レッドフォードが主催する、サンダンス映画祭国際賞などの多くの国際賞を受賞し、世界中を熱狂させた。

9歳の少年のジョズエ役には、空港で靴磨きをしていた新人ヴィニシウス・デ・オリヴェイラが1500人のオーディションから抜擢され、孤独と強さを秘めた少年を瑞々しく演じた。ドーラを演じたフェルナンダ・モンテネグロは、この役でベルリン銀熊賞主演女優賞を獲得する他、数々の女優賞を総

なめにした名女優。疑い深く、嘘つきなドーラがジョズエとの旅を通じて、生まれ変わっていく心理描写を見事に演じ、ニューヨーク・タイムズでも絶賛を浴びた。ドキュメンタリー出身のヴァルテル・サレス監督は、ブラジルの美しい風景、日常生活を控えめながらも美しく表現し、ブラジルに初の金メダルをもたらした。世界中の人々が熱い涙を流したこの作品が、いよいよ日本で公開されるのである。



### [ストーリー]

リオの中央駅で、字が書けない人の為に手紙を代筆している元・教師の女性ドーラと、9歳の少年ジョズエ。生まれてから一度も顔を見たことがない少年の父親に宛てた一通の手紙がこの二人を結び、人生を変えていく。目の前で母親を亡くし、独りぼっちになったジョズエの為に、ドーラはこの幼い少年を父親の元に送り届ける決心をし、二人はブラジルの美しい風景を背景に父親探しの旅に出る。最初は打ち解けなかった二人の距離も少しづつ縮まり、お互いに忘れていた優しさを取り戻していく——。

### セントラル・ステーション

1998年・ブラジル映画・上映時間1時間51分 配給:日本ヘラルド映画

HERALD

定員替制

恵比寿ガーデンプレイス内・恵比寿三越となり

恵比寿ガーデンシネマ

03(5420)6161

※2月22日(月)は休館。 土・日・祝 9:40 平日 12:00 2:20 4:40 7:00



## 2月6日(土)より(感動)のロードショー！

前売鑑賞券好評発売中！一般券:1,500円／ペア券:2,800円（ペア券は劇場窓口のみ発売）

\*恵比寿ガーデンシネマ、劇場窓口にて前売鑑賞券お求めの方先着1,000名様に「セントラル・ステーション」ポストカードプレゼント！

\*満席および上映開始後の入場はできません。●事前に混雑状況をお問合せ下さい。